

# これからの環境行政

## 新ごみ処分場の建設と ごみ減量化等の取り組み

昨年、現最終処分場の残容量が不足することが判明し、市は、平成27年3月の使用期限まで使用するための対応策を現在行っています。

また、市は、本年度を環境元年と位置づけ、これからのごみ処理の基本方針と施策を定めた、新たなごみ処理基本計画の策定を進めるとともに、平成27年4月の新ごみ処分場供用開始に向けた取り組みを行います。

今月号では、市民と行政が協働で取り組むごみの減量化や、将来への負担を減らす処理方法の実施など、総合的な環境行政岩見沢モデルの取り組みの紹介と新しいごみ処分場の建設について説明します。

### 市のごみ処理3原則

- ◆ごみの減量
- ◆ごみの再生利用
- ◆自然にやさしい処理

## 総合的な環境への取り組み

### 岩見沢にふさわしいごみ処理

今後のごみ処理方法について、ごみ処理3原則を基本に、環境に与える影響などを考慮し、岩見沢にふさわしいごみ処理など総合的な環境行政岩見沢モデルを展開していきます。

### 平成24年度の主な取り組み

#### ごみ減量化・資源化に向けて

- ◇有識者による3R推進アドバイザーの活用  
3Rの推進に向けて、アドバイザーによるごみ減量化施策などへの助言や講演会を開催。
- ◇ごみ減量化、資源化に向けた啓発  
ごみによりよい始末を進める市民会議などと連携し、ダンボールコンポストによる生ごみ堆肥化の推進やマイバッグ運動、イベント

の開催など、市民と協働で啓発活動を実施。  
◇集団資源回収の促進に向けた支援  
地域が取り組む集団資源回収に対し、紙類の回収量に応じて、奨励金を交付。

◇生ごみ減量化の推進  
家庭や事業者、地域での生ごみ処理機による減量化や堆肥化の取り組みに対し、その処理機の購入費の一部を助成。

◇資源物の収集回収の見直し  
びん、缶、ペットボトルの資源化の向上を図るため、今年度から毎週回収を実施。  
◇プラスチックの再資源化に向けた実証試験  
プラスチックを再資源化した循環

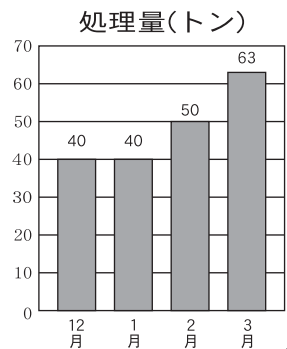
利用とその処理費用の調査のため、油化(燃料化)の実証試験を実施。  
◇ごみ減量化施策の検討  
ごみの減量化、循環利用の推進のために、市民の皆さんと一緒に、ごみの減量化施策を検討。

#### 環境教育

現在行っている、小・中学校の遠隔学習や事業所、施設、団体等に出向いてのごみ処理、分別、環境に関する教育や啓発活動のほか、本年度から、小・中学校で生ごみ処理機を活用し、

### もっと進めよう分別

昨年12月からスタートしたプラスチック製容器包装の分別が、市民の協力で着実に処理量が増えています。さらなる分別に向けて、引き続きご協力をお願いします。



学校給食の残渣を減量化する取り組みを通じた環境教育を進めます。  
現処分場の維持管理

現在の最終処分場において、即日覆土の代わりに、自然分解する覆土代替シートを今後も活用するほか、大型ごみ、軽量ごみの別途処理などを行い、残容量の測定も定期的に実施し、平成27年3月までの残容量を確保します。

#### 新処分場の建設

平成27年4月の供用開始を目指して、焼却施設やリサイクル施設、最終処分場の整備に着手します。(詳しくは、4ページ参照)

3Rとは  
環境と経済が両立した循環型社会を形成していくためのキーワードです。  
Reduce(リデュース) = ごみを減らす  
Reuse(リユース) = 繰り返し使う  
Recycle(リサイクル) = 再資源化

- 環境教育  
ごみの減量や資源利用の啓発と普及活動など
- コストの最大限の圧縮  
単独処理施設、ごみ減量化によるコストの抑制など
- 持続可能な環境づくり  
将来の負担を減らす処理方法の実施、生成エネルギーの活用など

# 新ごみ処分場の建設

環境にやさしい処理を目指して

【新ごみ処分場建設地】



新ごみ処分場は、平成27年4月供用開始する予定で、今年度からその建設に着手します。

新ごみ処分場では、収集した燃やせるごみは、焼却処理を行い、焼却灰を最終処分場に埋め立てます。

燃やせないごみと大型ごみは破碎選別機にかけ、アルミや鉄類の資源ごみ、混入した燃やせるごみや生ごみを取り出し、残りを埋め立てます。生ごみをそのまま埋め立てることがないため、現在の処分場のよう

に臭いの発生やカラス等が集まるといった問題点が解消できます。また、排ガス、悪臭、騒音、振動、排水についての公害防止基準については、関係法令を遵守するほか、一部で基準値より厳しい計画値を定め、環境にやさしい処理を行います。

## 新ごみ処分場の建設場所

新ごみ処分場は、現在のごみ処分場の近く(東山町東部の山間部)に建設します。搬入車両の搬入経路や台数は、これまでと大きく変わりません。

## 新ごみ処分場の施設

中間処理施設として、焼却施設、破碎選別施設、リサイクル施設を建設。最終処分場として、浸出水処理

【新ごみ処分場の各施設と概要】

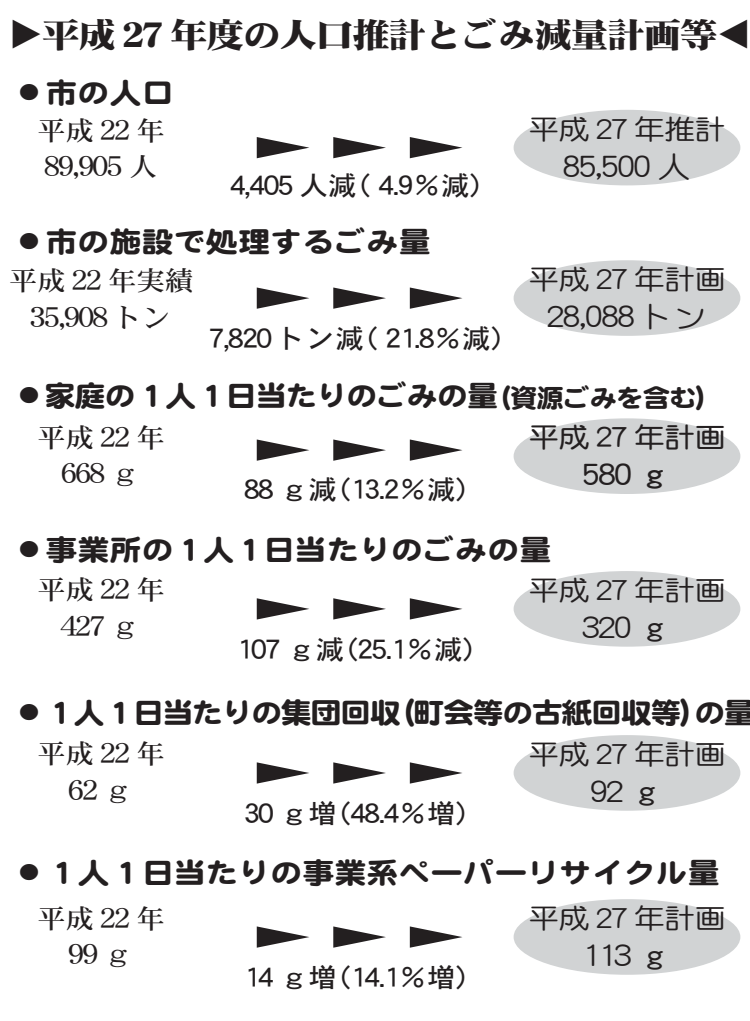
区分	施設の種類	1日当たりの処理能力	摘要
中間処理施設	焼却施設	100トン(24時間連続運転 1日50トン×2基)	高効率ごみ発電施設
	破碎選別施設	15トン	破碎し、鉄、アルミ、可燃、不燃に選別
	リサイクル施設 びん 缶 ペットボトル プラスチック製容器包装	26トン 1.5トン 1.1トン 4.7トン	透明、茶、その他に選別 鉄、アルミ別に圧縮梱包 圧縮梱包 圧縮梱包(現処理ラインを移設)
最終処分場	浸出水処理施設	70m <sup>3</sup>	埋立地からの雨水等を浄化し放流
	埋立地	埋立面積 約18,000m <sup>2</sup> 埋立容量 約100,000m <sup>3</sup>	計画埋立期間15年 焼却灰と燃やせないごみを埋め立て

施設、埋立地を建設します。各施設は、今年の秋以降に工事や施設建設に着手し、平成27年3月までに完成する予定です。

また、中間処理施設の工事業者選定は、総合評価一般競争入札を行い、学識経験者でつくる審査委員会で審査した技術評価点と入札価格を数値化した価格評価点を合わせた総合評価点に基づき、公正、公平に業者選定を行います。

## 平成27年度の計画ごみ量

新ごみ処分場の施設規模を算出す



【各市町の広域処理見込量(平成27年度計画)】

施設の種類	全体	岩見沢市	美唄市	月形町
焼却施設(1日当たり)	100トン	84.08トン	12.12トン	3.80トン
破碎選別施設(1日当たり)	15トン	14.83トン	0.02トン	0.15トン
埋立地(15年間で)	100,019m <sup>2</sup>	96,720m <sup>2</sup>		3,299m <sup>2</sup>

るためのごみの量は、平成27年度の人口推計と、有料化や収集方法の見直し、生ごみ減量化支援等のごみ減量化・資源化策による減量計画を基に算出しています。

平成27年度の各家庭や事業所での1人1日当たりのごみの量は、家庭で580g、事業所で320gと推計しています。平成22年度実績と比較した場合、家庭で88g、事業所で107gの減量が必要となります。

この計画の実現に向け、町会自治会等で古紙等の回収を行う集団資源回収や事業所でのペーパーリサ

イクル、びん・缶・ペットボトル・プラスチック製容器包装等の分別の徹底、家庭や事業所での生ごみの堆肥化処理等のさらなる推進を市民の皆さんと一緒に進めていきますので、ご協力をお願いします。

## 美唄市、月形町との広域処理

国や北海道では、広域的なごみ処理を推進しており、新ごみ処分場を建設するに当たり、市は、近隣自治体と協議を行い、美唄市と月形町の燃やせるごみと大型ごみを新ごみ処

分場で処理することになりました。美唄市と月形町から搬入されるごみは、各市町で一時保管し、それぞれ1日に2〜3台の車両で搬入し、処理します。その後、美唄市は焼却灰を持ち帰ります。

なお、両市町から、一般車両がごみを直接持ち込むことはありません。

両市町は、それぞれが持ち込むごみの量に基づいて、施設の建設費用、維持管理費用を負担します。

◆ これからの岩見沢市のごみ処理は、ごみの減量や集団資源回収の強化、分別の徹底など、市民の皆さんとともに取り組んでいかなければなりません。安心して暮らせる、住みやすい岩見沢市を未来に残すためにも、皆さんのご協力をお願いします。

◆ なお、ごみの減量化の取り組みや、新ごみ処分場の詳細等は、広報紙等を通じて、今後も市民の皆さんにお知らせしていきます。

問合せ  
新ごみ処分場の建設に関すること  
市新処分場建設室  
ごみ処理や分別等に関すること  
市廃棄物対策課

### 環境フェスタ 2012in であえーる

リサイクルマーケットや大型リサイクル品の販売などを行います

時間 午前 10 時～午後 2 時 30 分

内容 ●リサイクルマーケット ●ごみ処理、分別、減量化の各種展示  
●家具や自転車の大型リサイクル品の販売 ●スタンプラリー  
●地球温暖化防止パネル展 ●新エネ・省エネ学習展

会場 であえーる岩見沢( 4 西 3 )

問合せ先 市廃棄物対策課

**資源回収コーナーを設置します**

古布(乾いた物) 割りばし、紙パックを当日会場で回収します。

### 環境フェスタ講演会

ごみ減量化の先進事例などについて、講師を招き、基調講演を行います。

時間 午後 3 時～4 時 30 分

会場 であえーる岩見沢( 4 西 3 )

問合せ先 市廃棄物対策課

### いわみざわ環境美化の日

7月7日はいわみざわ環境美化の日です。まちをきれいにするために、周辺のごみ拾いや植樹などの取り組みを行う地域や団体、事業所などを募集します。

なお、事業所など7日が休業日の場合は前日の6日(金)に実施しても構いません。

申込・問合せ先 7月6日(金)までに市環境保全課へ

### リサイクルマーケット 出店者募集

自宅で不用となっている衣類や小物など、環境フェスタで行うリサイクルマーケットで出品してみませんか。

出店料 1 区画 500 円( 1 区画約 5.7 m<sup>2</sup> )

募集数 50 区画( 申込順。ただし市民優先 )

申込 6 月 18 日(月)～29 日(金(土・日曜日を除く)までに、電話または直接、市廃棄物対策課リサイクル推進係へ

### 消流雪用水貯水池公園 探索会 & 環境美化活動

冬期間、幾春別川の水を汲み上げて、利根別川に流すことで、利根別川の水量を確保し雪がスムーズに流れるようにしています。

この水を汲み上げる施設の説明を聞きながら探索し、周辺のごみ拾いをします。

時間 午前 7 時～8 時

会場 消流雪用水貯水池公園( 東町 332 先 )

説明員 北海道開発局札幌開発建設部岩見沢河川事務所職員

参加料 無料

申込・問合せ先 7 月 5 日(木)までに、住所、氏名、職業、電話番号を記入の上、ファックスまたは E メールで市環境保全課へ ☎ 23 局 9977 E メール energy@i-hamanasu.jp

### 平成 23 年度環境美化標語 入選作品!

【大賞受賞作品】 学校は作品応募時のものです。

- ◇ それはゴミ? きれいにあらえば リサイクル → 村松 英泰さん(日の出小)
- ◇ 分べつは 未来の地球を かえられる → 土居 愛菜さん(中央小)
- ◇ この緑 みんなで守る みらいまで → 渋谷 紗良さん(日の出小)
- ◇ ただのゴミ 分別すれば 宝物 → 井深 凌さん(第二小)
- ◇ ゴミ減らし 環境破壊 食い止める → 浅倉 有生乃さん(光陵中)
- ◇ ごみじゃない 生まれ変わるよ なんとでも → 橋場 竜也さん(光陵中)
- ◇ 捨てないで あなたのきれいな エコ心 → 堂前 蓮さん(緑中)

環境美化標語の募集に、各小・中学校からたくさんの応募がありました。

全 840 作品の中、60 作品が入賞。このうち大賞を受賞した 7 作品を紹介します。

どの作品にも、子どもたちの純粋な気持ちが込められています。子どもたちの未来のために、皆さんも、ごみの減量化や環境美化への実践にご協力をお願いします。

なお、大賞受賞者には、4 月 1 日に環境美化標語大賞贈呈式で、賞状と記念品を贈呈しました。

# いわみざわ環境週間

7月1日(日)～7日(土)

市は、低炭素社会や循環型社会、さらには自然共生社会の形成に向けた総合的な環境行政岩見沢モデルを推進するとともに、市民一人ひとりが環境への意識を一層高めるため、7月1日(日)から7日(土)までをいわみざわ環境週間とし、期間中、様々なイベントや活動を行います。ぜひ参加して、エコライフの実践にいかしてみませんか。

### 7月6日(金)

#### 環境施設 & エネルギー施設見学会 in 岩見沢 2012

ごみ処理施設をはじめ、エネルギー供給施設などをバスで移動しながら見学します。

時間 午後 1 時 30 分～4 時 30 分

集合場所 市役所本庁

見学先 市じん芥処理センター、市リサイクルセンター、北海道電力(株)岩見沢支店変電所、岩見沢ガス(株)天然ガスタンク、サンフロア工業(株)ゴムチップパネル、(有)前野商店精米機

定員 40 人( 申込順 ) 参加料 無料

申込・問合せ先 6 月 29 日(金)までに、住所、氏名、職業、電話番号を記入の上、ファックスまたは E メールで市環境保全課へ ☎ 23 局 9977 E メール energy@i-hamanasu.jp

### まちなか環境美化活動

中心市街地のごみ拾いをします。

時間 正午～午後 1 時

集合 ぷらっとパーク( 4 西 2 )

問合せ先 市環境保全課

### 7月1日(日)

#### 新エネルギー・省エネルギー講演会 in 岩見沢 2012

腹話術もある笑いたっぷりの講演です。

時間 午後 1 時 30 分～2 時 30 分

会場 であえーる岩見沢( 4 西 3 )

講演 実践! 楽しいエコライフ

講師 笑呼路次郎さん(健康エコライフアドバイザー)

定員 100 人( 申込順 ) 参加料 無料

申込・問合せ先 6 月 25 日(月)までに、住所、氏名、職業、電話番号を記入の上、ファックスまたは E メールで岩見沢新エネ・省エネ推進協会( 3 東 14 東光電機工業(株)内 )へ ☎ 22 局 3456 ☎ 24 局 1179 E メール toko-iwamizawa@ah.wakwak.com

### 7月1日(日)～5日(木)

- ごみ減量展
  - 地球温暖化防止パネル展
  - 新エネルギー・省エネルギー機器展
- 時間 午前 9 時～午後 7 時
- 会場 であえーる岩見沢( 4 西 3 )
- 問合せ先 市廃棄物対策課

### マイバッグ推進運動

市内大型小売店舗で、マイバッグ推進の啓発活動を行います。

問合せ先 市廃棄物対策課

## 環境・エネルギーセミナー in 岩見沢 2012

地球温暖化やエネルギーの問題について、講演や取り組み事例の発表、環境への取り組みパネル展を行います。皆さんも参加して、ライフスタイルを見直すきっかけにしませんか。

日時 6月22日(金) 午後3時～4時45分

会場 まなみーる(9西4)

演題、講師

- ◆地球環境と自然エネルギーの利用  
大友詔雄さん(北海道新エネルギー普及促進協会理事長)
- ◆幾春別川新水路等の効果について  
伊藤禎朗さん(北海道開発局札幌開発建設部岩見沢河川事務所長)
- ◆環境美化標語大賞スピーチ  
平成23年度環境美化標語大賞者
- ◆食品廃棄物と再生可能エネルギーの利用による6次産業化の可能性  
竹内良曜さん(北海道バイオマスリサーチ株式会社取締役)
- ◆岩見沢農業高校新エネルギーの取り組み  
北海道岩見沢農業高等学校農業土木工学科生徒

対象 市民 定員 100人(申込順) 参加料 無料

申込・問合せ先 6月15日(金)までに、住所、氏名、職業、電話番号を記入の上、ファックスまたはEメールで市環境保全課へ ☎ 23局 9977 Eメール energy@i-hamanasu.jp

## ●○ 電動生ごみ処理機(家庭用)購入助成のお知らせ ○●

市は、家庭から出される生ごみの減量・資源化を進めるため、電動生ごみ処理機の購入に対する助成を新たに開始します。

対象者 市内に居住している方(事業者を除く)で、処理機を適正に維持管理できる方

対象機器 電力を利用し生ごみを処理する機器で、乾燥方式、微生物分解方式など(ディスポージャーを除く)によるものとし、市が指定した登録販売店で購入する物

助成額 購入額の2分の1を助成し、20,000円を上限とする

助成人数 100人(申込順とし、1世帯1台までとする)

受付日時 6月10日(日) 午前9時～午後4時(100人に満たない場合は、6月11日(月)以降の祝日を除く月～金曜日に受け付けしますので、お問い合わせください)

持参する物 印鑑

詳しくは広報いわみざわ5月号または市のホームページをご覧ください。

受付・問合せ先 市廃棄物対策課リサイクル推進係

次の物は、  
助成の対象外です  
◆助成対象者決定前に購入した生ごみ処理機  
◆登録販売店以外で購入した生ごみ処理機

## 今年の夏 私たちにできること 気配りとアイデアで節電にご協力を

今年の夏は、北海道でも電力供給量が不足するおそれがあるといわれています。細かいことでも積み重ねると大きな節約になることがありますので、冷蔵庫や照明、テレビなどを中心に、節電の取り組みをお願いします。

【節電ポイント】

- ▷テレビなど家電製品で使っていないものは、電源を切るかコンセントを抜く
- ▷家庭で使用する家電製品の消費電力量を把握し、不要なものは使用しない(エコワットやワットモニターなど比較的low価格で家電製品の消費電力量を把握できるものも市販されています)
- ▷最大電力使用量が大きくなならないよう、消費電力の大きな機器をなるべく同時に使用しない
- ▷冷蔵庫の開閉時間を短くし、詰め込む量を少なくする
- ▷照明は、こまめに消し、日中はできるだけつけない
- ▷衣類乾燥機や洗濯機の乾燥機能の使用をできるだけ控える

問合せ先 市環境保全課